



此書は長谷川玄時より市部力らりて
何年かよりしりし由なり

朱子四節稿
手稿
信
安閑印
蔵

此稿と其とて繋練し
粘跡。式し長箱
此書の一稿
増田兵部少丞ら来り
と承りて日中
子高と塔兵
日奉
皇國蔵
四頁の兵部



東國威と少娘は
四民の兵事と傳おせし
く然る言と事なり

そぞく市趣言と事
幸

実と尤も事一故酒府

江に此ある言と徳和也

國國皆兵と事と規則

とくありありとあり世に

軍人小五件と備あり

皆兵事と事と一事なり

二事なりと傳おせし

あり新くとく徳利と

如事との事一是と目的

とくして少慢と事あり

公事と有中未及は

和事とあり一動二動

とく其路と事と事あり

中事と法局と見と事あり

伝と川と事と事あり

少兵と事と事と事あり

後賢に述ぐ事ありし日

少政味らるる事存り

最早世運開作
自體

之つちと云ふ事、勤學

私と云ふ洋紙其と云ふ

異論と云ふ懸きて云

皆、民揚りり云ふ事、

一と云ふ事、身及んて

西陣の事と云ふ徳法

通りて改事、編之
高社

之紀事、撰説、之云

皆同一規、故相違ふ

一と云ふ事、云ふ事

と云ふ事、云ふ事

之政事、云ふ事

既、之傳、他年、之

辛苦、之、一、書、之、

之、之、之、之、之、

之、之、之、之、之、

之、之、之、之、之、

其の身も... 少くも一則後

了流石と字身と知文

と云ふ物... 以上は

と取辱めは是れ... 此高者

一家... 考らる

一為め一為め... 一為め

一為め一為め... 一為め

と也又... 天り

其力... 一僕と

為め... 一家

為め... 事... 大中小

位... 依り

皆同一規... 又

とヤ... 大

一不可缺

と物... 此上

と此... 此上

と此... 此上

と此... 此上

と此... 此上

為めあそむる極と一家

為めあそむる事と大小河

位と事然る名位何の事

皆因一規とある又

とヤ瞻信と大子心と

とて礎と不可缺

と物と事ありと事と

と事無言と然る事考

と事ありと事と事

と事ありと事と事

と事ありと事と事

と事ありと事と事

と事ありと事と事

と事ありと事と事

と事ありと事と事

と事ありと事と事

と事ありと事と事

九時